

スーパーマーケットなどに行きますと、野菜が山のように積まれています。その中には、中国などを初めとして、外国でつくられたものもたくさん含まれているのであります。最近の五年間で見えますと、野菜の輸入量は二倍近くにふえているということであります。

これに対しまして、国内の生産者からは農産物の輸入を制限してほしいという声が高まっていますのであります。外国から安いものが大量に入ってくることによって大きな損害を受けているというのがその理由であります。こういった声を受けまして、政府は、ネギなどの農産物につきまして暫定的に輸入を制限することにしたのであります。

このような政府の対応に対しまして、さまざまな意見が出されております。生産者の多くはこれを歓迎しているのであります。しかし、消費者の反応は大きく二つに分かれております。一つは、国内でつくられる安全な農産物を守るべきであるという立場から賛成す

るものであります。もう一つは、海外から入
ってきたものでありましても、品質に問題が
なく低価格で供給されるのであれば、それは
認めるべきではないかというものであります。